

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっとランド		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		2026年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心安全に通ってもらえる環境設定と、子どもたちの特性に寄り添った支援の提供。	活動が固定化しないように職員の専門性を活かしながら活動内容の立案を行っている。	職員の専門性を活かしながら活動内容の検討や見直しを定期的に行い、子どもたちの特性に応じた活動の充実を図る。
2	保護者や関係機関との情報共有、連携を大切に子どもだけではなく保護者に寄り添った支援の提供。	保護者と日々の連絡帳や送迎時に細かな事でも共有することを大切にしている。	懇談会だけではなく保護者との関りの機会を増やしていきけるよう工夫していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の障害児支援事業所、児童館や放課後クラブとの交流する機会が少ない。	地域の事業所等にアプローチをしていない。	・事業所や法人の情報を発信する。 ・併用事業所との情報共有する機会を設定する。
2	保護者同士やきょうだい同士の交流の場が少ない。	個別懇談会や保護者会は実施しているが保護者や特にきょうだい同士の交流の機会は十分に実施できていない。	・きょうだいも参加できる行事の機会を設ける。 ・保護者同士の交流の機会や研修等の実施。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ほっとランド

公表日 2026年3月31日

利用児童数 42名

回収数 30名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3				・活動や施設の見学も可能ですのでご相談ください。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2				・引き続き、子どもたち一人ひとりの特性に応じた支援の提供に努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	2				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	2				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	1		1		・引き続き、子どもたちが楽しんで参加できる活動の提供に努めます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	3	2	22		・今後の検討課題とさせていただきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1		1		・
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	3		1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	29	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	2	2	1	参加できていません。	・引き続き、保護者会等の開催を予定しておりますのでお気軽にご参加ください。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	1	1			・相談があった際には迅速に対応し適切に対応するよう努めます。
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	3					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	3		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1	1	5		・マニュアルは随時見直しを行い安心して子どもたちが利用できるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2		6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2	1	2		・引き続き、神速かつ丁寧な説明を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1	1			・引き続き、安心で楽しい場所となるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	2			いつもありがとうございます！	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ほっとランド			公表日	2026年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に応じた必要なスペースを確保している。	引き続き、利用定員や特性に応じたスペースの確保をするともに、子どもたちが安全に過ごすことが出来る環境設定に努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員に応じた職員配置を行っている。	引き続き、適切な職員配置に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもの発達や特性に合わせて安心して過ごすことが出来るよう工夫している。	引き続き、子どもたちが楽しく安全に過ごせるよう環境設定に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行い清潔を保っている。また、子どもたちの特性や人数に合わせてグループ分け等を行い活動を提供している。	引き続き、清潔で心地良く過ごせる環境設定に努める。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて使用できる環境になっている。	引き続き、状況に応じて使用できる環境設定を行う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の引継ぎや月例会議にて情報交換を行い業務改善に努めている。	引き続き、日々の情報共有を行いひとり一人が積極的に業務改善に取り組めるように努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価後には会議等で情報共有を行い、内容によっては改善に努めている。	引き続き、事業所アンケートを実施し業務改善に繋げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に複数回面談の機会を設けている。内容によっては会議等で検討し業務改善に繋げている。	引き続き、職員が意見を言いやすい環境設定を行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は取り入れていない。	今度の検討課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で研修が開催され参加することが出来ている。	引き続き、職員の資質向上を図るために研修へ参加する機会を確保していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子どもたちの発達や特性に合わせたプログラムを作成しHP上で公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ひとり一人アセスメントを行い、個人面談や日々の連絡帳にて保護者の方の思いやニーズを踏まえて計画を作成している。	今後も子どもたちにより良い支援が出来るよう保護者の方と連携し計画作成を行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけではなく、保育士、児童指導員、理学療法士の様々な視点での計画作成を行っている。	引き続き、ひとり一人に合わせた計画を作成していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容を職員間で共有したうえで、子どもの発達段階や計画書の内容を踏まえ活動設定を行っている。	引き続き、情報共有を行い計画に沿った支援を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の支援記録や引継ぎ簿等の情報をもとに子どもたちの状況を把握している。	引き続き様々な情報を用いて子どもたちの状況を把握していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って、子ども一人ひとりに応じた支援計画を作成している。	引き続き、放課後等デイサービスガイドラインに沿って支援計画を作成していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		グループごとにアイデアや改善策を出し子どもの特性に応じた活動を立案している。	引き続き職員間で連携を図りながら活動の立案を行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動に偏りがないよう話し合い月ごとに活動内容を決めている。	引き続き子どもたちの発達に沿った活動を提供できるよう努めていく。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画を作成している。	引き続き、子どもの状況に応じて児童発達支援計画を作成する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には毎日引継ぎを行い活動内容の確認等を行っている。	引き続き、活動内容の確認や情報共有を行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		退勤前に一日の振り返りや気づいたことの共有を行っている。	引き続き、情報共有を行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		活動内容や子どもの様子など記録を行い必要に応じてその都度話し合いを行い改善に努めている。	継続して記録の入力を行うとともに支援の検証・改善に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリング会議を行い支援の見直しを行っている。	今後も定期的にモニタリング会議を実施します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせ活動や支援を提供している。	引き続き、「4つの基本活動」を組み合わせた活動や支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもの特性に応じ絵カードやボード等を使用しながら、自己選択から自己決定に繋がる支援を心がけている。	引き続き、自己選択から自己決定に繋がる支援を提供していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議には積極的に参加している。	引き続き、サービス担当者会議等に積極的に参加しより良い支援に繋がっていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との連携して支援を行う体制は整えている。	引き続き関係機関との連携を図りより良い支援に繋がっていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて学校との情報共有等は随時行っている。	引き続き、学校との情報共有を行い子どもたちの安全確保に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前に利用していた児童発達支援センターとは毎年引継ぎを行い情報共有や相互理解に努めている。	引き続き、就学前に利用していた機関との情報共有を実施していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援事業所を通して障害福祉サービスへ移行する際には情報共有を行っている。	引き続き卒業後に利用する事業所との情報共有を必要に応じて実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターと連携を図っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後の実施課題とする。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			今後も自立支援協議会へ参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の連絡帳や送迎時に保護者と発達状況課題について情報共有を行っている。	引き続き保護者の方と情報共有を行い共通理解が出来るよう努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者会や個別懇談会などの機会を通して相談や助言を行っている。	引き続き、保護者の方と情報共有を行い必要に応じて助言を行う。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明を行っている。	今後も契約時に丁寧な説明を行う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画を作成する際には意向を確認する機会を設けており確認したうえで作成している。	引き続き、子どもや保護者の意向を確認する機会を設ける。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援内容を説明する際には放課後等デイサービス計画を提示しながら行っている。	引き続き、説明する際には丁寧な説明を行う。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な個別懇談会だけではなく必要に応じて対面や電話等で情報共有を行っている。	今後も保護者の方の相談に対して適切な対応と助言を行う。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を開催し保護者間の交流する機会を提供している。	兄弟同士の交流する機会については今後の検討課題とする。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や苦情があった際の体制については、契約時に説明を行っている。相談や苦情があった際に適切にお応えできるように努めていく。	引き続き、苦情等の申し入れがあった際には迅速かつ適切に対応できるよう努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月おたよりを発行している。また、HPに行事や活動の様子を記載している。	引き続き、おたよりの発行やHPで子どもたちの様子について発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関する研修を行い取り扱いについては適切に行っている。	今後も個人情報の取り扱いには十分に留意していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。また、普段と違った様子が見られた際には電話連絡等を行っている。	引き続き、適切な方法での情報共有に努める。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域の方々を招待する行事等は実施できていない。	今後の検討課題とする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し職員間で共有している。保護者については手引きや契約時に説明を行っている。	引き続き、マニュアルについては随時見直しを行い、定期的な訓練の実施を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的な訓練の実施を行っている。	引き続き、災害に備え定期的な訓練を行う。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時や送迎時等で保護者から聞き取り職員間で共有を行っている。	引き続き子どもの状況を定期的に確認し職員間で共有を行っている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○		指示書に基づき対応している。また行事等で食物を扱う際には事前に保護者の方に確認を行っている。	今後も適切に対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し研修や訓練を実施している。	引き続き、安全管理が十分にされた中で支援を提供していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		連絡帳や送迎時に取組み内容について周知している。	引き続き、取組み内容について周知を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が発生した場合には報告書を作成し再発防止に取り組んでいる。	今後も事例が発生した場合には報告書を作成し職員間で共有するとともに再発防止に取り組んでいく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		権利擁護や虐待防止についての研修に参加している。	今後も研修等に参加し適切に支援を提供していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う場合には組織的に決定しており事前に保護者の方に了承を得たうえで児童発達支援計画に記載している。	引き続き、適切に対応する。	